

東部汚水処理場



東部汚水処理場では、東部(伏谷)埋立場とすでに埋め立てが完了している東部地区(八田を除く)の埋立場で発生する浸出水を集めて処理しています。

処理した水は汚濁物質や重金属等を取り除き、清浄な水として公共下水道へ放流しています。

所在地 : 福岡市東区蒲田5丁目14-1 TEL(092)691-0097

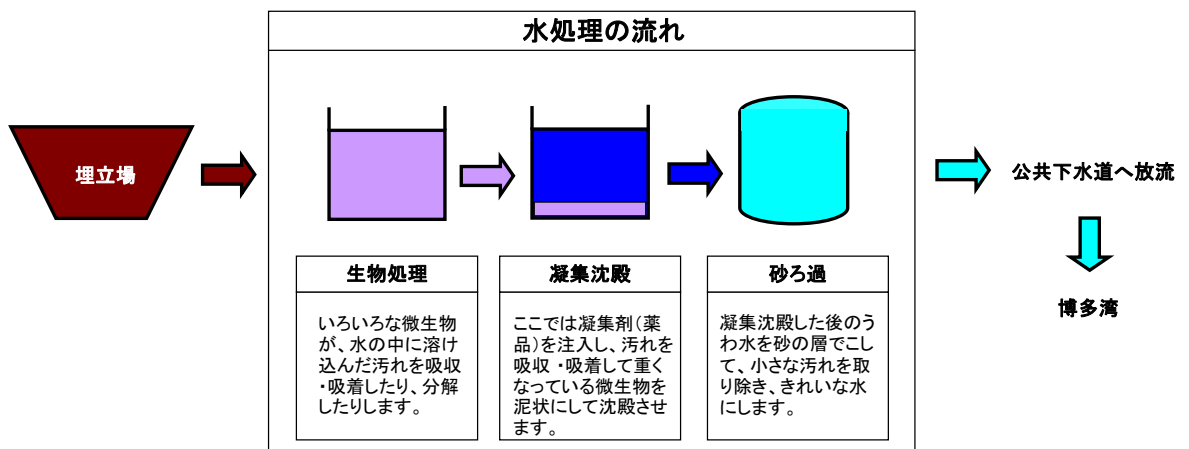
敷地面積 : 17,000m²

処理方法 : 伏谷1系 生物処理+凝集沈殿+砂ろ過
伏谷2系 生物処理+凝集沈殿+砂ろ過

処理水質 : pH:5~9、BOD:100mg/l以下、
COD:100mg/l以下、SS:10mg/l以下

稼働開始 : 伏谷1系:昭和63年4月
伏谷2系:平成11年4月

pH : 水素イオン濃度
BOD : 生物化学的酸素要求量
COD : 化学的酸素要求量
SS : 浮遊物質



●この汚水処理場では、放射性セシウムをほとんど除去することはできません。

詳しくは独立行政法人国立環境研究所 東日本大震災関連ページ内の「放射性物質の挙動からみた適正な廃棄物処理処分(技術資料第二版) 平成24年3月26日」p76「第8章 浸出水処理過程における挙動と制御」をご参照ください。

http://www.nies.go.jp/shinsai/techrepo_r2_120326.pdf

参考 環境用語

【pH(水素イオン濃度)】

Potential Hydrogenの略。

その水が「酸性」、「中性」、「アルカリ性」のうちのいずれかの性質を示すかを見分けるための指標です。

pHは川や海の水の性質として重要な要素であり、川や海などでは通常pH=7前後の中性に近い値を示します。pH<7で酸性、PH>7でアルカリ性です。

【BOD(生物化学的酸素要求量)】

Biochemical Oxygen Demandの略。

微生物が汚れ(有機物)を食べるために使った酸素の量のことで、川のごみを調べる目安として使われています。

普通、川や海に魚がすむことができるのはBOD 5mg/l程度以下といわれており、これが10mg/l以上になると川は悪臭を放つようになります。

【COD(化学的酸素要求量)】

Chemical Oxygen Demandの略。

BODと同じように汚れを調べる目安ですが、CODは微生物のかわりに薬品を使って水中の酸素の使われる量を調べています。

CODも海や湖の汚れを調べる時に用いられており、値が小さいほど「きれいな水」といえます。

【SS(浮遊物質)】

Suspended Solidの略。

水中に浮遊又は懸濁している直径2mm以下の物質の量のことで。

その主な成分は、プランクトンなどの生物の死がいやふんやその分解物などの有機物、粘土微粒子などの無機物であり、値が小さいほど「きれいな水」といえます。

【T-N(全窒素)】

Total-Nitrogenの略。

水中に存在するいろいろな形態の窒素化合物の全体のことをいいます。総窒素ともいう。

排水などに含まれる窒素が川や海に流入すると、「富栄養化」の原因となります。

水の富栄養化の程度を表す指標の一つであり、富栄養化のおそれのある湖沼および海域について、環境基準および排水基準が定められています。